

シンポジスト等略歴

【シンポジスト】

室崎益輝（むろさき よしてる） 神戸大学名誉教授・地区防災計画学会会長



1944 年生まれ。京都大学博士（工学）。神戸大学都市安全研究センター教授、消防研究所理事、関西学院大学災害復興制度研究所長、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長等を経て現職。日本火災学会会長、日本災害復興学会会長、地区防災計画学会会長、消防審議会会長、ひょうごボランティアプラザ所長、日本防災士会理事長等を歴任。

矢守克也（やもり かつや） 京都大学防災研究所教授・地区防災計画学会副会長



1963 年生まれ。大阪大学博士（人間科学）。専門は、社会心理学、防災心理学。現在、地区防災計画学会副会長、日本災害復興学会会長、自然災害学会理事・評議員、国際総合防災学会理事、日本質的心理学会理事、日本グループ・ダイナミクス学会理事などをつとめる。

伊藤弘人（いとう ひろと） 東北医科薬科大学医学部医療管理学教室教授



1962 年生まれ。東京大学博士（保健学）。厚生労働省科学技術調整官、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会精神保健研究部長、（独）労働者健康安全機構本部研究ディレクター等を経て現職。現在、日本医療・病院管理学会理事、医療・病院管理研究協会理事、（一社）Healthcare BCP コンソーシアム理事。

加藤孝明（かとう たかあき） 東京大学生産技術研究所教授／社会科学研究所特任教授



1967 年生まれ。東京大学博士（工学）。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助手、助教、准教授等を経て 2020 年より現職。専門は、地域安全システム学、まちづくり、都市計画。地区防災計画学会理事、地域安全学会理事、日本災害復興学会理事等を歴任。

磯打千雅子（いそうち ちかこ） 香川大学 IECMS 地域強靱化研究センター准教授



岐阜県生まれ。香川大学博士（工学）。香川大学危機管理研究センター特命准教授等を経て現職。専門分野は、地域防災、危機管理、事業継続計画（BCP）、地域継続計画（DCP）。香川県防災会議委員、内閣府地区防災計画制度有識者懇談会委員、地区防災計画学会理事等を歴任。

岩井慶次（いわい けいじ） 日本防災士会理事・岐阜県支部長、岐阜大学非常勤講師



1956 年生まれ。金沢工業大学卒。阪神・淡路大震災では恵那青年会議所理事長として、東日本大震災では岐阜県災害ボランティア隊のリーダーとして支援活動を実施。岐阜県及び岐阜大学が共同設置したシンクタンク「清流の国ぎふ防災・減災センター」のコーディネーターとして、防災・減災を担える人材づくりを推進中。岐阜県震災対策検証委員会委員等を歴任。

【モデレーター】

西澤雅道（にしざわ まさみち） 元 福岡大学法学部准教授



1973 年生まれ。中央大学法学部卒。内閣官房、内閣府、総務省等で勤務。東日本大震災後に地区防災計画制度の企画立案を担当。地区防災計画学会会長代理。主な著書は『地区防災計画制度入門』（NTT 出版・2014 年）。

【総合司会等】

西田佳弘（にしだ よしひろ） 大阪公立大学 UReC 特別研究員（関西情報センターシニアエキスパート）



1960 年生まれ。関西大学大学院工学研究科修士課程修了。地区防災計画学会幹事。内閣府の地区防災計画策定支援モデル事業、地区防災計画作成支援業務等を担当。著書に「土砂災害に備える地区防災計画」第 2 部第 4 章（共著・ブイツーソリューション・2021 年）、「地区防災計画学の基礎と実践」第 II 部第 7 章（共著・弘文堂・2022 年）。

坊農豊彦（ぼうの とよひこ） 大阪公立大学 UReC 特別研究員（関西情報センターチームリーダー）



1964 年生まれ。日本大学大学院総合社会情報研究科博士前期課程修了。修士（国際情報）。パナソニックグループを経て現職。地区防災計画学会幹事・事務局次長、日本国際情報学会理事、堺市北区政策会議委員等を歴任。

金 思穎（きん しえい） 専修大学人間科学部兼任講師（福岡大学非常勤講師）



専修大学博士（社会学）。日本学術振興会特別研究員（DC2）、専修大学人間科学部研究員等を経て現職。2014 年度地区防災計画学会奨励賞、2016 年度同論文賞を受賞。地区防災計画学会幹事・青年部長。主な著書は『防災の法と社会—熊本地震とその後』（信山社・2018 年）。